

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	女子高生
	ノイマン					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	償い	衝動	嫌悪	初期侵食率	33	%
出自	政治的権力	経験	殺傷	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	1			1	行動値	12
感覚	0	1	2			3	(非装備時)	12
精神	6	0	0			6	戦闘移動	17
社会	2	0	0			2	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	3		交渉	2	
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	5
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
アルカイック	P 慕情	N 敵愾心			
霧谷雄吾	P 感服	N 脅威			
FHの先輩(東雲透子)	P 信頼	N 嫉妬			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
常勝の天才	3	6	セットアップ	視界	シーン	自動	ピュアブリード	
効果: 対象がこのラウンドに行なうあらゆる攻撃の攻撃力を+[LV×4]する。ただし、このエフェクトはあなた自身を対象にできない。このエフェクトは1シーンに1回まで使用できる。								
戦術	2	6	セットアッププロセス	視界	シーン(選択)	自動成功	-	
効果: 対象がこのラウンド中に行なうメジャーアクションのダイスを+LV個。自身を対象不可。								
アドヴァイス	1	4	メジャーアクション	視界	単体	成功/失敗	-	
効果: 次に対象が行なうメジャーアクションのクリティカル値を-1(下限値6)し、その判定のダイスを+LV個する。								
弱点看破	1	3	メジャーアクション	視界	単体	成功/失敗	-	
効果: そのラウンドの間、対象が行なう攻撃の攻撃力を+[LV×3]する。								
勝利の女神	5	4	オートアクション	視界	単体	自動成功	100%	
効果: 対象が判定を行なった直後に使用する。その判定の達成値を+[LV×3]する。このエフェクトは1ラウンドに1回まで使用できる。								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「軍師ノノちゃんにまっかせっなざーい！あーしが来たから速攻で終わらせちゃるし！」
 おつむの弱そうな女子高生。ミニスカカーディガンにルーズソックスが一周回って令和トレンド。(らしい)
 ピュアノイマンなので頭の回転がとても速い。
 気さくで人懐っこく、物怖じもしなければパーソナルスペースも狭い。誰に対してモグイグイいく。
 趣味は人に適当なあだ名勝手に付けることと、ショッピングとメイクとネイルとYoutube。インスタはやってる。

 エニグマ(PC2HOA) -
 アルカイックの陰謀で、相棒だった先輩を亡くした復讐をすべく、
 FHセル『エニグマ』に潜入しUGNに情報を横流ししている。
 PC1HOBの八雲くんは一方的に知ってる。妨害ばっかする蜘蛛みたいな奴なので勝手に「クモクモ」呼びしてる。

 本名: 七宮瑩瑠(ノエル)。DQNネームすぎて嫌なのでノノで通している。
 元から頭も素行も良くない、自分の毎日が楽しければそれでいい高校生だった。
 不良グループの喧嘩に巻き込まれたことでオーヴァードに覚醒。
 自分の友達を守るために必死で指示を飛ばして、相手だけを片付けることができてしまった。
 オーヴァードに覚醒した後、能力の制御が上手くいかず、グルグルと思考を続けっぱなしの頭で、
 ノイマンの頭脳を駆使して絞り出した結論は『おそらく似たような境遇の先輩を頼る』だった。
 実際、その先輩はFHの一員で、事情を話すと世話を焼いてくれた。
 暫くして、ペアを組んでFHの一員として働くことになった。
 ノノが指揮官で先輩がバトる。良いコンビだったし、ずっと二人でやっていくのだと思ってた。
 アルカイックって奴の仕事で二人で組んだ時、明らかに強い相手を押し付けられて、